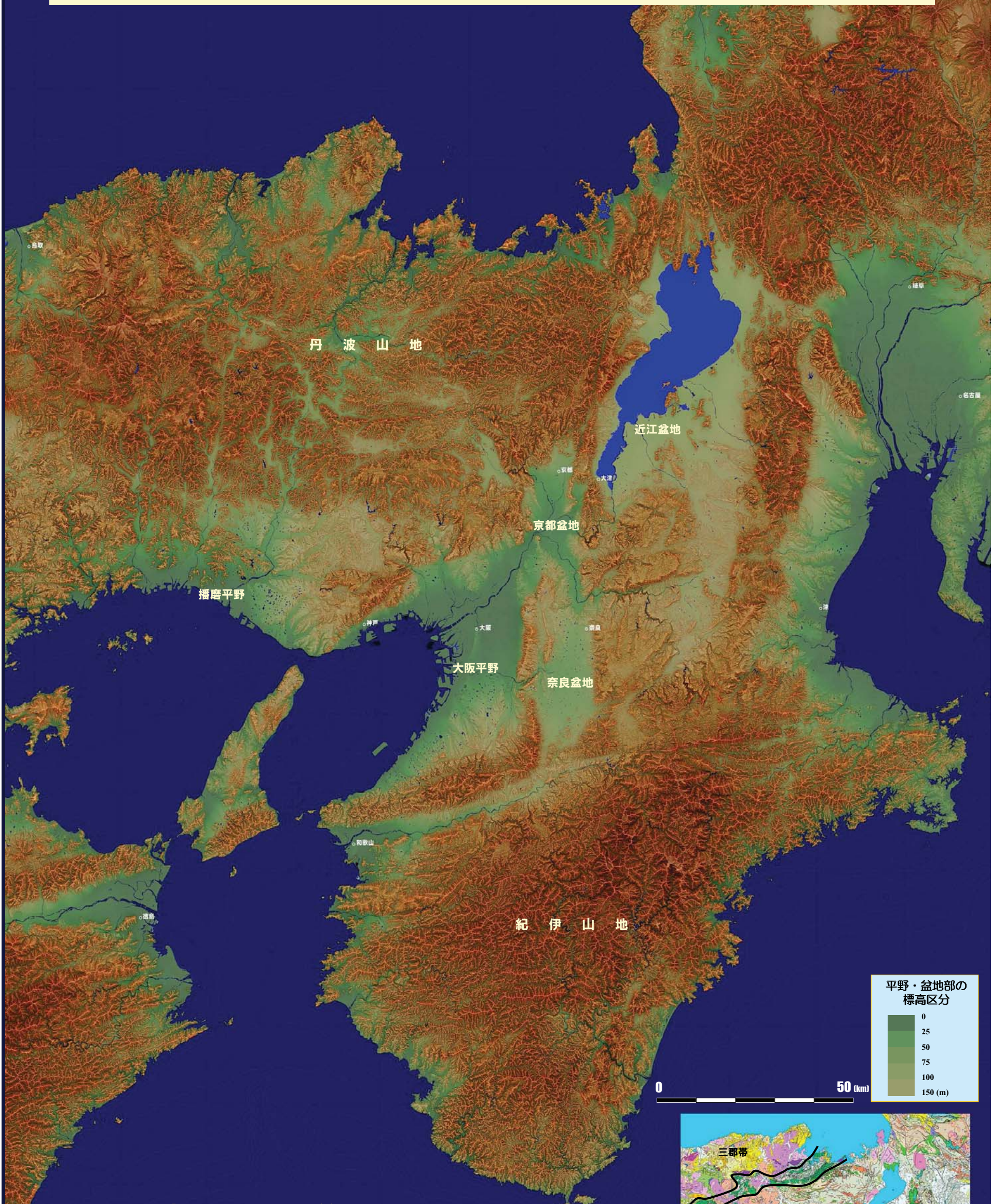


日本応用地質学会 関西支部



関西地方の地形・地質の特徴

関西地方は、北部と南部に古い地質からなる丹波山地や紀伊山地が広がり、中部には、大阪、播磨などの平野や京都、奈良、近江といった盆地が分布しています。これらの平野や盆地と山地の境には多くの活断層があります。

山地では、岩盤からの落石や地すべりなどの土砂災害が多く発生しています。また、砂や泥など未固結の地層が厚く堆積している平野や盆地では多くの人々が生活しており、地震時の激しい揺れによる地盤災害や地下水や土壌の汚染も発生しています。

